

Big18創世記物語

【Big18 誕生】

社内イベントのためのバンドではなく、もっと純粋に音楽を楽しめるバンドはできないか。それが新入社員村井が受けた相談だった。1964年初夏の頃である。その年の4月に村井は日立製作所戸塚事業所に入社していた。当時、事業所に楽団部と呼ばれるブラスバンドはあったがジャズのビッグバンドはなかった。学生時代から横浜・関内周辺でジャズバンドのアルバイトをしていた村井にとって、これは願ってもないチャンスだった。さっそく当時楽団部の部員だった児玉、佐藤、芳賀らと共にメンバーの編成変えに着手。この年の秋、新生ジャズバンドとしての活動を始めることになった。この新しいバンドに合流したメンバーが18人だったことによりバンド名を

Big18と名付けた。当時最年少ではあったがジャズの経験豊かな村井がバンマスに指名された。村井が22歳の秋である。

ビッグバンドを運営する時の最大の課題は譜面の確保。村井は学生アルバイト時代に知り合った音楽仲間に目を付けた。彼らのうち何人かはすでにプロのビッグバンドに入団しており、そのツテを生かして譜面を探したところ快く協力してくれた。と言っても譜面をもらえる訳ではない。彼らの仕事中に楽屋を訪れ、そこで譜面を見せてもらいながら一枚ずつ手書きで書き写していくのだ。50年たった今でも村井が譜面の管理に人一倍厳しいのは、若い時のこんな苦労があったからだ。



創立一周年の頃のBig18。右端が村井。(1965年秋撮影)

1964年と言えば東京オリンピック開催の年。いわゆる高度成長期のど真ん中である。仕事も忙しかったが余暇を楽しむことも忘れていなかった。当時企業に働く若い人たちの楽しみの一つがダンスパーティー（その頃はダンパと呼ばれた）。企業もこのような若手社員のレクリエーションを積極的に支援した。Big18はダンスバンドとして結成された訳ではなかったが、次第にダンパの主催者から声がかかるようになった。初めは事業所内のダンパに出演する程度だったが、きちんとした譜面を数多く持っているBig18の評判は上がり、当時横浜、あるいは湘南地域にあった別の企業やダンスサークルからも誘いがかかるようになった。バンド改造プロジェクトは成功した。日本の経済がもっとも活気に満ちていた時代だった。

【日本産業音楽祭に参加】

ダンスパーティーのイベントが増えるにしたがってメンバーの生活は忙しくなった。毎週休日になると、戸塚事業所の一角にある練習場に集まっては練習を重ねた。練習もイベントへの参加も楽しかったが、この頃から村井やメンバーたちは少しずつ物足りなさを感じ始めていた。Big18としてバンドを結成した以上、ダンスのバックをするだけでなく、ベイシーやエリントンのように舞台上で演奏したい。自分たちの演奏が純粋に音楽として聴いてもらえるのか、それを試したかった。

ちょうどその時、会社の厚生部から日本産業音楽祭に出てみないか、という話が来た。この音楽祭は当時の通産省が主催し、

企業で活動する音楽愛好者たちに発表の場を与えようと企画されたものだ。プロのミュージシャンが審査員として参加するコンクール形式の音楽祭である。Big18の演奏がどの位のレベルのものなのか、客観的な評価を得るための絶好のチャンスだ。すぐにこの音楽祭へのエントリーを決めた。

1966年9月18日、Big18は第11回日本産業音楽祭に初めて参加した。横浜野毛にある県立青少年ホールでこの時演奏した曲は「Water Mellon Man」と「Li'l Darlin'」。初めての参加で優秀賞を受賞した。それからのBig18は毎年一回開催されるこの日本産業音楽祭を目標として活動するようになった。翌67年の産業音楽祭では最優秀賞を受賞。さらに72年まで6年間連続で最優秀賞を獲得することになる。特に71年は全国的最優秀賞を受賞したバンドの中から選抜されて、NHKテレビの全国放送に出演するという快挙も成し遂げた。



第12回日本産業音楽祭出場し最優秀賞を受賞
(1967.9.17)

もちろん、演奏の機会は産業音楽祭だけではなく。ダンスパーティーへの出演も継続していたが、一方で67年と68年

に2度の自主コンサートも行った。初回のコンサートは67年9月30日、日本産業音楽祭の神奈川県会場と同じ、県立青少年ホールで行った。ちなみにこの時の入場料は150円だった。また、この時期バンドのマネージャーとして渉外を担当した芳賀と共に KBL(神奈川県アマチュアビッグバンド連盟)の創設にもかかわるなど、アマチュアビッグバンドの中で Big18 の存在が大きくなっていった。

【事業所移転により活動が低迷】

バンド活動は多忙を極めていたが、実はこの時期、Big18にとって一つの大きな悩みを抱え始めていた。1968年、日立製作所の事業再編成により、村井の所属するコンピュータ事業が戸塚から秦野に移転になったことだ。この移転に伴って村井は秦野に転勤、他のメンバーもそれぞれ別の事業所に分かれてしまった。それでもバンドを続けようとの意欲は変わらず、以前と同じように、休日には戸塚に集まっては練習を続けた。ただ、これまでのような頻度で練習を行うことはできず、練習に参加するメンバーも一人、また一人と櫛の歯が欠けるように少なくなっていった。メンバーの欠員は何とか村井の個人的な友人で埋め合わせた。しかし、バンドの活動がしだいに低調になっていくのを食い止めることはできず、ついに73年は産業音楽祭への参加も断念せざるを得なくなった。Big18の活動は事実上休止に追い込まれていった。

【独立アマチュアバンドとして再興】

このような状況の中にあっても、村井は何とか Big18 の活動を再開しようと模索

していた。76年には戸塚時代のメンバーに声をかけて産業音楽祭をターゲットにリハーサルを再開したが、約一年間の活動の後に再び活動は低迷した。そんな中で77年、厚木の県央労働福祉会館で「働く者の音楽祭」という神奈川県内の企業バンドが一同に介する音楽祭が開催された。Big18はメンバーがそろわず、この音楽祭に参加することはできなかったが、村井は日立の秦野事業所に前年新設された「Big Herd Orchestra」の一員としてこのイベントに参加した。そして、このイベントでは最後に各参加バンドからのピックアップメンバーによる合同演奏があった。この合同演奏が Big18 の次のステップへの大きな足掛かりになるとは、その時誰も想像しなかった。ピックアップメンバーの演奏が好評で、翌年、同じメンバーでこのイベントに「県央リハーサルバンド」というバンド名で参加することになる。この後「働く者の音楽祭」にはリハーサルバンドとして6年連続出演している。後年 Big18 で長く演奏を続けたメンバーとしては、高橋、有村、相田、斉藤、加藤、奥山、初田らがこの時のリハーサルバンドに参加した。



働く者の音楽祭(1980.10.26)



第 27 回日本産業音楽祭 (1982.9.12)

それまで、アマチュアビッグバンドというと、ほとんどが企業内バンドであった。かつては企業もこのような活動をサポートし、活動費の補助も出した。しかし、70年代に起きた二度のオイルショック以降、大手企業にはこのような社員の業務外の活動を支援する余裕がなくなっていた。村井はこれまでのように企業内バンドとして活動を続けることの限界を感じ始めており、企業の枠を超えたアマチュアビッグバンドの方が活動しやすいと考えていた。そして、リハーサルバンドはまさにその条件を満たしていた。

そこで村井はリハーサルバンドのメンバーに対し、このバンドを常設のバンドとし、活動休止になっている Big18 をこのメンバーで再興するというプランを提案、多くのメンバーから了解を得た。足りない

メンバーを補うために新しいメンバーも探した。81年には日本のビッグバンドが大好きなスイス人 Stapfer が参加、彼は92年に仕事の関係で帰国するまで在籍することになる。さらに、83年までの数年のうちに、現在もメンバーとして活動を続けている増淵、篠崎、近藤、櫻井、児玉ら5名が新たに参加、リハーサルバンドから引き続き参加していたメンバーを含め、現在の Big18 の骨格が出来上がった。

80年には Big18 として念願の日本産業音楽祭への復帰を果たし、さらに82年には大賞を受賞した。村井の執念が実り、Big18 をまた再びステージに立たせることができた。

(文中の個人名は敬称を省略させていただきました。)

1982年以降の出演イベント全記録

1982	9/12	第27回日本産業音楽祭
	10/31	KBLコンサート
	11/27	PORT SOUND Vol.3
1983	5/15	KBL月例コンサート
	7/3	KBL BigBandシンポジウム
	7/16	Sound Festival「働く仲間とともに」
	7/23	秦野プロムナードコンサート
	9/11	第28回日本産業音楽祭
	9/18	厚木青少年会館秋の音楽祭
	11/3	神奈川生協祭
	11/19	ダンスパーティー
	11/27	KBLコンサート
	12/11	PORT SOUND VOL.4
1984	12/23	ダンスパーティー
	2/12	県央地区青少年会館利用団体コンサート
	5/20	KBL月例コンサート
	6/30	KBL BigBandシンポジウム
	7/15	厚木青少年会館コンサート
	9/30	第29回日本産業音楽祭
	11/3	神奈川生協祭
	12/15	Citicorp クリスマスディナーショー
	12/22	ザホテルヨコハマ クリスマスディナーショー
	1985	3/24
5/19		KBL月例コンサート
7/7		ビッグバンドシンポジウム
9/29		第30回日本産業音楽祭
11/3		協同組合まつり
11/9		青少年会館まつり・ダンスパーティー
11/9		ジャズ・ライブ
11/17		音楽祭
1/31		新春パーティー
2/9		KBLコンサート
1986	4/13	キャンプ座間 お花見コンサート
	5/17	キャンプ座間 三軍統合記念日
	6/28	秦野市文化会館ダンスパーティー
	7/5	キャンプ座間 独立記念日コンサート
	7/6	KBLビッグバンドシンポジウム
	8/9	キャンプ座間盆おどりコンサート
	8/23	鷹尾団地夏祭り コンサート
	9/23	第31回日本産業音楽祭
	10/18	青少年会館まつり・ダンスパーティー
	11/3	協同組合まつり
1987	12/19	住友ビザ年末ディナーショー
	1/23	スイスユニオン銀行パーティー
	2/22	KBLコンサート
	5/16	キャンプ座間コンサート
	6/28	ジョイント・コンサート w/Groovin' Sounds
	7/4	キャンプ座間 独立記念日コンサート
	8/1	プロムナードコンサート
	8/8	キャンプ座間盆おどりコンサート
	9/23	第32回日本産業音楽祭
	9/26	近藤均さん結婚披露パーティー
10/17	青少年会館まつり・ダンスパーティー	
11/3	協同組合まつり	
11/14	スイスユニオン銀行嬉恋パーティー	
12/12	Citibank X'mas Party	
1988	2/28	KBLコンサート
	7/3	キャンプ座間 独立記念日コンサート
	7/24	KBL月例コンサート
	8/20	キャンプ座間盆おどりコンサート
	9/4	第33回日本産業音楽祭
1989	11/3	協同組合まつり
	12/10	Citibank X'mas Party
	3/12	KBL月例コンサート
	4/27	横浜博覧会 かながわのき舞台
	5/28	横浜博覧会
	7/8	相模大野レストラン開店記念イベント
	8/12	キャンプ座間盆おどりコンサート
	9/3	第34回日本産業音楽祭
	9/23	横浜博覧会 浜っ子ステージ
	10/1	20回KBLコンサート
10/28	厚木青少年会館ダンスパーティー	
11/3	神奈川生協祭	
12/9	Citibank X'mas Party	

日本産業音楽祭には80年から2002年まで22年間連続出場した。この第27回は新生Big18として初めて大賞を受賞した年。曲は「Jazz Unlimited」と「Shinny Stockings」だった。この後2回ほど大賞を逃したことはあるが、それ以外はすべて大賞を受賞した。

座間市内に広大な敷地を持つ米軍座間キャンプ。当時の司令官が無類の音楽好きで、市民との交流イベントが行われるたびにBig18を呼んでくれた。一般車両はキャンプ内に立ち入り禁止だが、Big18のメンバーには特別のPassがイベントに先だって配布される。春は花見、夏は花火に盆おどりと季節によって趣向は変わる。98年まで12年間続いた。

88年の産業音楽祭で演奏した曲の一つは「Swanee」。演奏後、司会者が審査員講評を原信夫さんをお願いしたところ、第一声は「この譜面どうして持っているの？」だった。メンバー全員に緊張が走る。実はこの譜面、原信夫と#&bのメンバーから原さんに内緒で見せていただいたもので、不法コピーではないが出所は言えない。とっさに村井から出た回答の「昔からありました。」がいまだに名言（迷言？）としてメンバーに語り継がれている。続けて原さんから「たぶん僕のバンドの演奏を聴いて音を取ったのだろうけど間違っている部分がある。ちゃんとした譜面をあげるから連絡しなさい。」という優しいコメントをいただいた。メンバーは心の中で（譜面はちゃんとしているけれどミストーンがあっただけ。）と思っていたがそれも言えない。それでも大賞をいただいた。原さんに感謝。



現在はショッピングモールと高層マンションが林立する横浜みなとみらい地区だが、このエリアは開発が始まる直前の1989年にいったん博覧会会場となった。Big18はこの博覧会各参加ブースから計3回の出演依頼を受けた。特に9月23日は横浜市パビリオンに出演し、11時、13時、15時の3回公演。盛り上がりが最高潮に達した15時の公演では、当時の米国現役副大統領クエール氏も観客の一人として我々の演奏を聴いてくれた。



1998	3/22	泉かほる歌謡ショー
	8/8	キャンプ座間 盆おどりコンサート
	9/6	第43回日本産業音楽祭
	9/15	結婚披露宴
	10/3	WORLD PC EXPO '98
	10/31	コミセンまつりコンサート
	11/3	協同組合まつり
1999	2/6	第4回Big18コンサート ゲスト:キャロル山崎
	3/14	COOP音楽祭
	5/3	アートホールかながわダンスパーティー
	5/16	泉かほるふれあいコンサート
	9/5	第44回日本産業音楽祭
	10/31	コミセンまつりコンサート
	11/3	協同組合まつり
2000	12/15	日立忘年会パーティー
	9/10	第45回日本産業音楽祭
	9/17	泉かほるコンサート
	9/23	第5回Big18コンサート ゲスト: 中本マリ
	11/3	COOPコンサート
	11/18	コミセンまつりコンサート
	11/23	スイング・カラオケ発表会
2001	7/29	泉かほるコンサート
	9/9	第46回日本産業音楽祭
	11/3	COOPコンサート
	11/24	コミセン音楽祭
	12/15	クリスマス・ライブ
	2/17	KBL合同コンサート
	5/26	横濱ジャズプロムナード
2002	7/28	旭ジャズまつり
	9/8	第47回日本産業音楽祭
	11/1	鶴見区コンサート
	11/3	COOPコンサート
	11/17	コミセン音楽祭
	2/16	KBL合同コンサート
	6/7	クリフサイド第一回ジャズライブ
2003	10/26	第6回Big18コンサート ゲスト: 金子晴美
	11/1	チャリティーコンサート
	11/3	COOPコンサート
	12/20	クリフサイド Jazz Night
	12/24	鎌倉プリンス ダンスパーティー
	1/11	厚木ジャズ祭
	2/22	KBL合同コンサート
2004	4/18	鎌倉プリンス ダンスパーティー
	5/1	春の新宿ジャズ祭り
	7/24	シンフォニー船上ディナーショー
	10/10	鎌倉プリンス ダンスパーティー
	11/6	チャリティーコンサート
	11/14	コミセン秋のコンサート
	12/18	クリフサイド Jazz Night

83年から2003年まで、毎年11月3日の祝日に相模川河川敷近くで神奈川生協主催のイベントに出演した。このイベントでは県下の生協が持ち込んだ新鮮な野菜を安く購入できたので、演奏が終わってから河川敷で家族と一緒にバーベキューをすることになり、これが毎年恒例の行事になった。上の写真は96年11月3日に撮影したものだが、この時期のメンバーの平均年齢は30代半ば。家族に小さな子供が多く、賑やかなバーベキュー大会となった。

2000年のコンサートに向けてタキシードを新調し、以後のBig18コンサートはすべてタキシードを着て演奏することになる。(ということはもう14年も着ていることになる。どうりで腹周りがきついはずだ。)
この第5回までバンド主催のコンサートは厚木市文化会館の小ホール(収容人数400名)で開催していたが、この年はお客様が予想以上に多く、立見の方が数多く出るなどご迷惑をかけた。そこで、次の第6回以降からは大ホール(収容人数1,400名)に移り、現在まで続いている。

2002年、第47回日本産業音楽祭を最後に、この音楽祭は廃止になった。Big18が思い出残る最後の産音祭で演奏した曲は「Lester Leaps In」と「For Lena And Lennie」。大賞と審査委員賞の両方をいただいた。



2003年から横浜元町にある老舗ダンスホール、クリフサイドに毎年出演させていただくようになった。

県央地区で活動するアマチュアビッグバンドが一堂に会するジャズ祭の第一回がこの年開催された。実はBig18(村井)が発起人。毎年春に厚木市文化会館大ホールで実施しており、年々観客数も増えている。

2005	2/20	KBL合同コンサート
	4/22	鎌倉プリンス ダンスパーティー
	5/29	湘南ジャズまつり
	7/9	東京三田クラブ ディナーコンサート
	10/23	第7回Big18コンサート ゲスト:スリーグレイセス
2006	11/13	コミセン秋のコンサート
	12/18	クリフサイド Jazz Night
	6/7	インターコンチネンタル ディナージャズコンサート
	7/9	椿山荘ディナージャズコンサート
	10/8	横濱ジャズプロムナード
2007	11/5	コミセン秋のコンサート
	12/18	クリフサイド Jazz Night
	5/6	厚木ジャズまつり
	7/28	厚木夏の音楽祭
	8/26	ライブプラザ新緑納涼祭
2008	9/15	鈴木雅人さん結婚披露パーティ
	10/14	第8回Big18コンサート ゲスト:しばたはつみ
	10/15	鎌倉プリンス ダンスパーティー
	10/19	シルバー人材センター記念コンサート
	11/11	コミセン音楽祭
2009	12/9	大和駅前イルミネーション点灯ライブ
	12/15	クリフサイド Jazz Night ゲスト: 里ヒロミ
	5/11	厚木ジャズ祭
	8/1	ゆうてんじサマー-JAZZ祭
	8/26	ライブプラザ新緑納涼祭
2010	11/11	コミセン音楽祭
	12/20	クリフサイド Jazz Night ゲスト: 里ヒロミ
	5/10	厚木ジャズ祭
	8/23	ライブプラザ新緑納涼祭
	9/27	ゆうてんじサマー-JAZZ祭
2011	10/11	第9回Big18コンサート ゲスト:タイムファイブ
	11/15	コミセン音楽祭
	12/19	クリフサイド Jazz Concert ゲスト:浜村美智子
	5/9(日)	厚木ジャズ祭
	7/22	こばと保育園開園式
2012	8/22	ライブプラザ新緑納涼祭
	10/17	ゆうてんじサマー-JAZZ祭
	11/14	泉の森キャンプ場ライブ
	11/14	コミセン音楽祭
	12/5	大和駅前イルミネーション点灯ライブ
2013	12/18	クリフサイド Jazz Night ゲスト: 元山いずみ
	2/19	宇藤家結婚披露宴
	5/8	厚木ジャズ祭
	8/25	あつぎジャズナイト
	8/28	ライブプラザ新緑納涼祭
2014	10/16	ゆうてんじJAZZ祭
	11/6	コミセン音楽祭
	11/20	第10回Big18コンサート ゲスト:宇崎竜童
	12/4	イルミネーション点灯ライブ
	12/24	クリフサイド Jazz Night ゲスト: 大江めぐみ
2015	5/13	厚木ジャズ祭
	8/5	大和駅前サマーフェスティバル・コンサート
	8/23	あつぎジャズナイト
	8/26	ライブプラザ新緑納涼祭
	9/14	SWING赤坂 宇崎竜童さんと共演
2016	10/21	ゆうてんじJAZZ祭 ゲスト: 菊地康正・稲里ひろみ
	11/11	コミセン音楽祭
	12/22	クリフサイド Jazz Night ゲスト: 大江めぐみ
	5/12	厚木ジャズ祭
	7/27	ミュージック・エクスペリエンス2013
2017	8/11	大和駅前納涼祭
	8/22	あつぎジャズナイト
	8/25	ライブプラザ新緑納涼祭
	9/13	SWING赤坂
	9/21	ゆうてんじJAZZ祭 ゲスト: 菊地康正・稲里ひろみ
2018	11/10	コミセン音楽祭
	11/24	第11回Big18コンサート ゲスト:サーカス
	12/7	閉館10周年記念クリスマスに贈るコンサート
	12/21	クリフサイド Jazz Night ゲスト: 沖野ゆみ
	5/11	厚木ジャズ祭
2019	8/21	あつぎジャズナイト
	8/24	ライブプラザ新緑納涼祭
	9/12	SWING赤坂
	9/20	ゆうてんじJAZZ祭
	10/19	創立50周年記念コンサート ゲスト:マリア・エヴァ

この頃になると、高橋、村井を皮切りにバンドメンバーの中からサラリーマン・リタイア組が少しずつ増えてきた。それに伴ってバンドのために使える時間も増える。これまでは仕事と家庭と音楽の三足のワラジの生活だったが、これからは音楽が生活の中心になるメンバーが多くなる。若いメンバーは平日のイベントへの参加が難しく苦労しているが、リタイア組にとっては平日も休日もない。バンド活動はますます活発になりそうだ。



2009年クリフサイド・クリスマス・コンサート。写真は浜村美智子さんと「バナナボート」のバックコーラスをつけるBig18コーラス隊(?)。



2011年コンサートのゲストは宇崎竜童さん。アンコールでサングラスをかけ、港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカのイントロが流れると、会場は大喝采となった。ご本人のお申し出により、出演料はこの年の春に起きた東日本大震災の被災地に全額寄付させていただいた。また、これを機に翌年から宇崎さんに声をかけていただき、SWING赤坂のイベントにも出演している。



2013年コンサートのゲスト、コーラスグループのサーカスさんとのリハーサル時に記念撮影

そして50周年。これからもよろしくお願いします。